尾瀬のニホンジカについて学ぶセルフガイド

作成：環境省尾瀬沼ビジターセンター

Point ポイント 1

あらされた湿原があるかさがしてみよう！
どうして、あらされてしまうのかな？

Point ポイント 2

シカに食べられた植物があるかさがしてみよう！どんな植物が食べられていたかな？

絵を描いてみよう

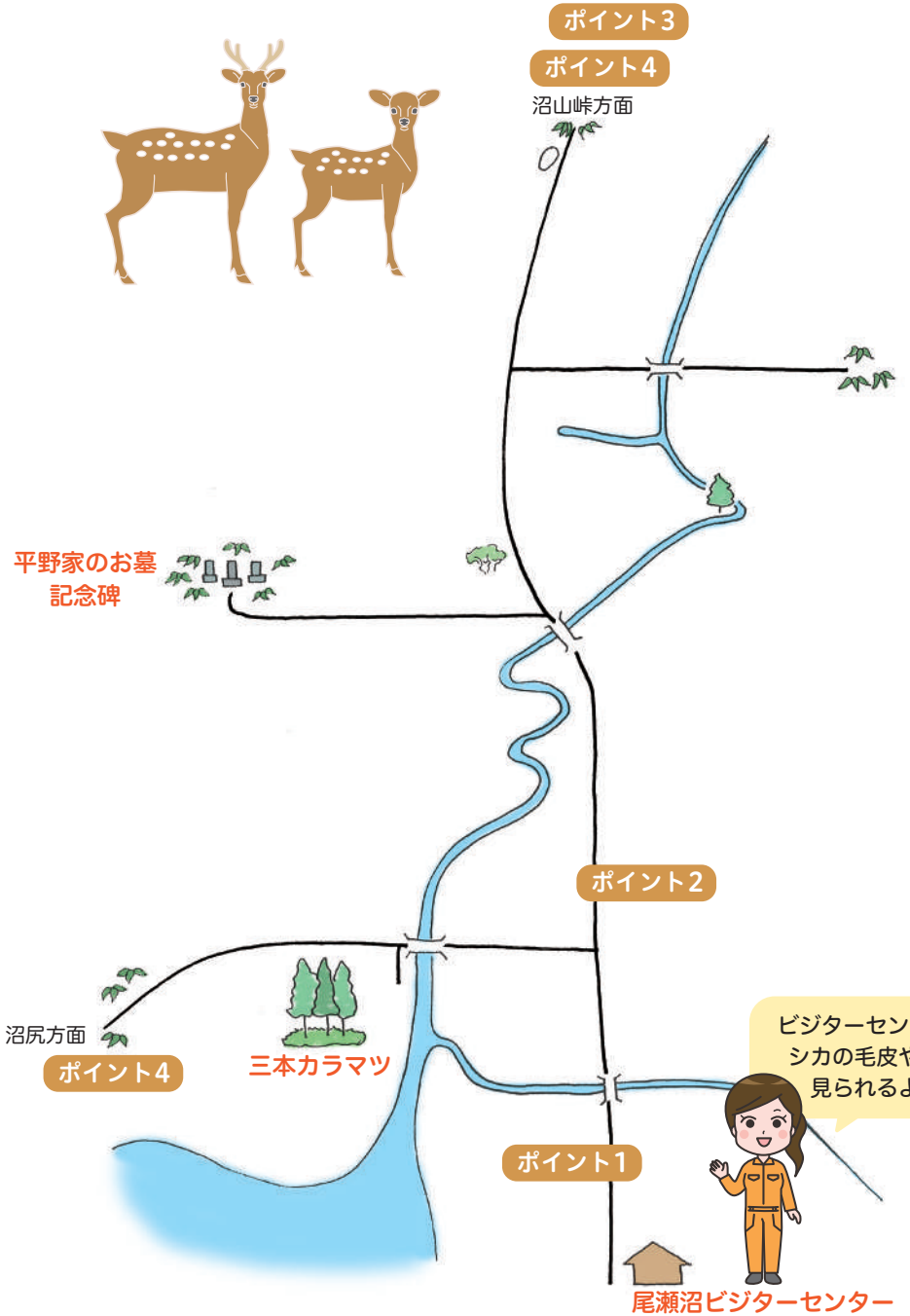
Point ポイント 3

ニホンジカのうんちや足あとをさがそう！
どんな大きさ、形だったかな？
（尾瀬沼ビジターセンターに写真もあるよ）

絵を描いてみよう

Point ポイント 4

シカ柵（さく）の仕組みを学ぼう！
どんなことが分かったかな？



尾瀬のニホンジカについて学ぶセルフガイド 解説編

作成：環境省尾瀬沼ビジターセンター

Point ポイント 1

湿原があらされているところは「ヌタ場」や植物をほり起こして根っこなどを食べたあとになります。

「ヌタ場」では、ニホンジカは体に付いたダニや汚れを落とすためにドロをあびたりしていることが分かっています。

大切な植物が無くなってしまうこと、湿原があらされてしまうことが問題となっています。

Point ポイント 2

尾瀬では、大切な植物がシカに食べられてしまうことが大きな問題になっています。シカは多くの植物を食べますが、とくに好きな植物と好まない植物があります。シカに食べられて植物が減ってしまうと、その植物を食べていた虫などが生きられなくなってしまったり、その結果、尾瀬の自然のバランスがこわれてしまうことが問題になっています。

とくに好きな植物：ニッコウキスゲ、ミツガシワ、ミズバショウなど
好まない植物：マルバダケブキ、オオカニコウモリなど

さらに調べるための参考図書：かわいい目のシカが害獣ってどうして？（農山漁村文化協会,2011）

Point ポイント 3

野外で見られる動物の痕跡（こんせき）をフィールドサインと言います。

足跡（あしあと）やフン、何かを食べたあとなどがあります。

こうしたフィールドサインは、動物の存在を確認できるだけでなく、どういう環境が好きなのか、どのくらいの数がいるのかなど、様々な調査研究にも役立てられています。

注意深く観察してみましょう。

Point ポイント 4

大切な湿原や植物を守るために、大江湿原ではシカ柵（さく）が設置されています。雪の重みでこわれないようにするため、毎年春先に設置し冬が始まる前に外しています。

また、木道部分は、私たち人間は入れてもシカは入れないようにする必要があり、とびらやグレーチングが設置されています。

グレーチングを設置することで、ニホンジカやイノシシのような足をした動物は、みぞに足を取られることが嫌（いや）で入らなくなります。

どうして？？

ニホンジカは全国的に増えており、各地でさまざまな問題が起きています。ニホンジカが増えてしまった理由は、ハンターの減少と高齢化（こうれいか）、積雪量の減少など、私たち人間の「自然やシカとの関わり方の変化」が大きく関係していると言われています。